

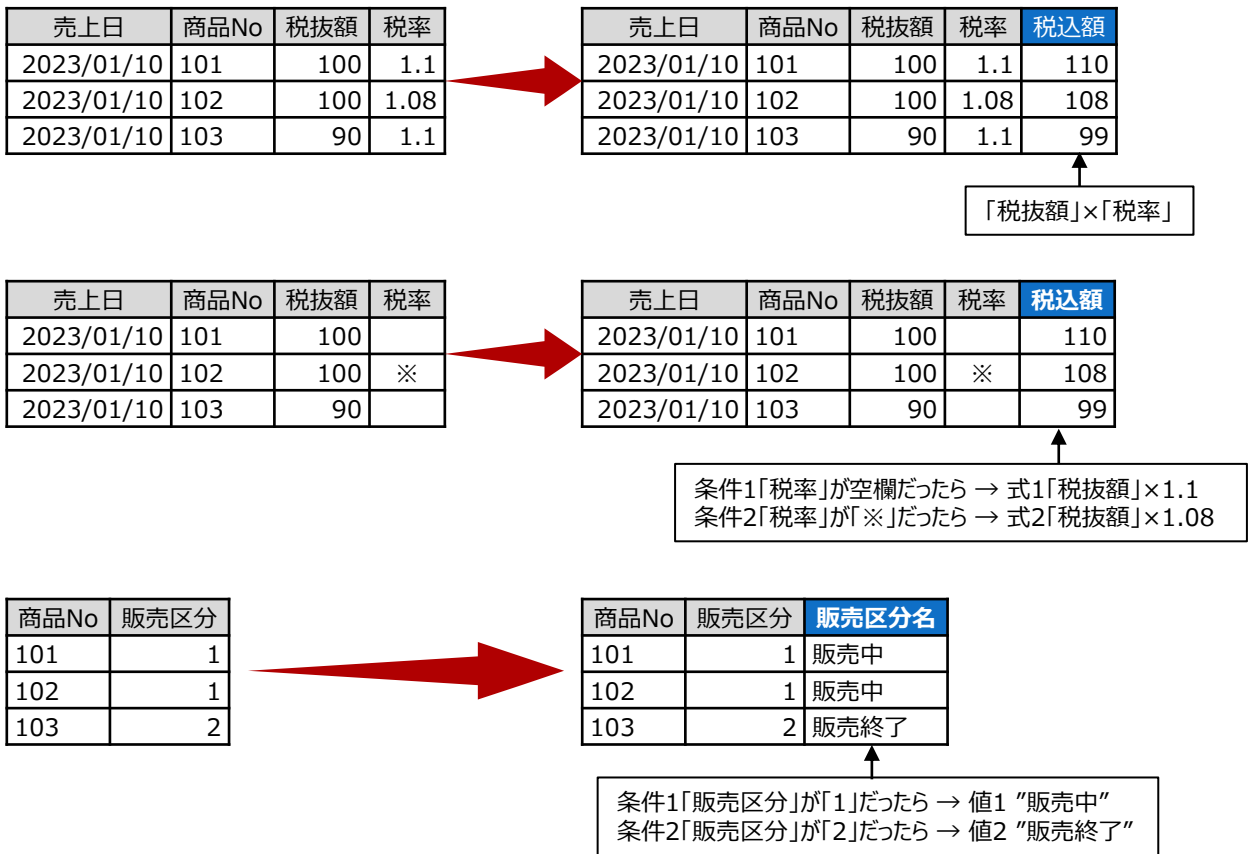
新規フィールド追加

テーブルに新しいフィールドを追加する

◇機能

《新規フィールド追加》は、テーブルに新しいフィールドを追加する機能です。《新規フィールド追加》で追加したフィールドは、「追加フィールド」とも言います。

フィールドに表示する内容は、式（または値）で指定します。条件を設定し、条件ごとに表示する内容を変えることも可能です。



◇追加フィールドの作成方法

追加フィールドの作成方法は、3通りあります。

- テーブルを開いた状態で、メニューの《加工》-《新規フィールド追加》をクリックする。
- テーブルを開いた状態で、任意のフィールドのフィールド名を右クリックし、「新規フィールド追加」をクリックする。
- テーブルを開いた状態で、メニューの《プロジェクト》-《テーブルメンテナンス》をクリックし、テーブルのプレビュー画面で任意のデータをクリックして、テーブルメンテナンス画面のナビゲータで、《新規フィールド追加》をクリックする。

◇設定内容

1. テーブル名：

操作の対象となっているテーブルが表示されます。

2. フィールド名（必須）：

追加するフィールドの名前を入力します。

- フィールド名の長さは、64文字までです。
- フィールド名には、使用できない文字があります。

3. データ型（必須）：

追加するフィールドに適用するデータ型を「▼」をクリックして選択します。

- 数値の計算で、小数点以下の値が出る可能性がある場合は、「数値型（10進数）」を選択してください。「数値型（整数）」を選択すると、整数値で切り捨てられます。
- 「数値型（10進数）」を選択すると、「小数点以下の桁数」の設定欄が表示されます。「▼」をクリックし、1桁～5桁までの任意の桁を選択してください。※「小数点以下の桁数」は「6桁」まで表示されますが、5桁以内で選択してください（THUMGY Dataで扱える小数部分の桁数が5桁までのため）。

※桁数の選択肢から「6桁」を削除する予定です。

4. 書式設定：

「データ型」で数値型（整数・10進数）、日付時刻型を選択した場合は、「▼」をクリックして書式を選択します。

5. 初期値（必須）：

フィールドの内容を作成するための式（または値）を入力します。

- 条件式（7.以降）を設定する場合は、「初期値」には、条件式に一致しない場合に表示する内容の式（または値）を入力します。

6. 《式ビルダー》アイコン：

アイコンの左側の入力欄に式を入力するために、式ビルダーを開いて使用できます。

7. 条件（任意）：

条件によってフィールドに表示する内容を変える場合は、条件式を入力します。

8. 式または値（条件を入力した場合は必須）：

条件に合致した場合に表示する内容の式（または値）を入力します。

9. 《追加》ボタン（任意）：

複数の条件を設定する場合にクリックします。現在の条件が確定され、次の条件を入力する画面が追加されます。

- 《追加》ボタンは、《追加》ボタンがある行の「式または値」を入力すると使用可能になります。
- 条件は「適用順」の順番で評価されます（1が優先度高）。最後の条件まで評価して、条件に合致しない場合は、「初期値」の式の結果（または値）が表示されます。

10. 《実行》ボタン：

実行します。表示された「テーブルメンテナンス」画面で、作成したフィールドの情報を確認し、《保存》ボタンをクリックします。「編集内容を保存しますか？」というメッセージで《はい》をクリックすると、テーブルにフィールドが追加されます。

<「テーブルメンテナンス」画面>

テーブル名	商品マスター					
データ型		文字型	数値型（整数）	文字型	文字型	
書式設定			桁区切り有り			
フィールド名	1	商品No	商品名	販売単価	販売区分	販売区分名
	2	30103001	春の彩	800	1	販売中
	3	30103002	夏の賑い	800	1	販売中
	4	30103003	秋の調べ	800	1	販売中
	5	30103004	冬の折り	800	1	販売中
	6	30103005	四季の調べ	2,400	1	販売中
	7	30103006	四季の調べ Special Box	3,000	1	販売中
	8	30103007	四季の調べ PREMIUM BOX	3,200	1	販売中
	9	30104001	SAKURA Gold	3,500	1	販売中
	10	30104002	SAKURA Premium	4,500	1	販売中
	11	30104003	桜の里スペシャルA	1,450	1	販売中
	12	30104004	桜の里スペシャルB	1,450	1	販売中
	13	30104005	桜の里スペシャルC	1,450	1	販売中
	14	30104006	桜の里スペシャルD	1,450	1	販売中
	15	30105001	フラワーギフトS-1	680	1	販売中
	16	30105002	フラワーギフト S-2	680	1	販売中
	17	30105003	フラワーギフトm-1	700	1	販売中
	18	30105004	フラワーギフトM-2	700	1	販売中
	19	30105005	フラワーギフトXL	2,700	1	販売中

「テーブルメンテナンス」画面では、追加フィールドは、フィールド名の背景色が緑で表示されます。

11. 《削除》ボタン：

追加フィールドを削除します。《削除》ボタンは、「テーブルメンテナンス」画面の《追加フィールド編集》で追加フィールドの編集画面を開いた場合に使用可能になります。



12. 《キャンセル》ボタン：
実行せずに画面を閉じます。

◇入力例

以下のテーブルでの追加フィールドの作成例です。

売上日	商品No	単価	数量
2023/01/10	101	100	4
2023/02/10	102	150	3
2023/10/10	103	90	10
2023/11/10	102	150	-1

●「金額」フィールド（単価×数量）を数値型で作成する

<ul style="list-style-type: none"> フィールド名：金額 データ型：数値型（整数 または 10進数） ※「金額」フィールドを数値にしたいので、数値型を選択します。 書式設定：桁区切り有り または 桁区切り無し 初期値：[単価]*[数量] 	(日付時刻型) (文字型) (数値型) (数値型) 数値型 <table border="1"> <thead> <tr> <th>売上日</th> <th>商品No</th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023/01/10</td> <td>101</td> <td>100</td> <td>4</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>2023/02/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>3</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>2023/10/10</td> <td>103</td> <td>90</td> <td>10</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>2023/11/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>-1</td> <td>-150</td> </tr> </tbody> </table>	売上日	商品No	単価	数量	金額	2023/01/10	101	100	4	400	2023/02/10	102	150	3	450	2023/10/10	103	90	10	900	2023/11/10	102	150	-1	-150
売上日	商品No	単価	数量	金額																						
2023/01/10	101	100	4	400																						
2023/02/10	102	150	3	450																						
2023/10/10	103	90	10	900																						
2023/11/10	102	150	-1	-150																						

●「金額」フィールド（単価×数量）を文字型で作成する

<ul style="list-style-type: none"> フィールド名：金額 データ型：文字型 ※「金額」フィールドの値を文字として扱いたいので、文字型を選択します。 書式設定：なし 初期値：[単価]*[数量] 	(日付時刻型) (文字型) (数値型) (数値型) 文字型 <table border="1"> <thead> <tr> <th>売上日</th> <th>商品No</th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023/01/10</td> <td>101</td> <td>100</td> <td>4</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>2023/02/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>3</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>2023/10/10</td> <td>103</td> <td>90</td> <td>10</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>2023/11/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>-1</td> <td>-150</td> </tr> </tbody> </table>	売上日	商品No	単価	数量	金額	2023/01/10	101	100	4	400	2023/02/10	102	150	3	450	2023/10/10	103	90	10	900	2023/11/10	102	150	-1	-150
売上日	商品No	単価	数量	金額																						
2023/01/10	101	100	4	400																						
2023/02/10	102	150	3	450																						
2023/10/10	103	90	10	900																						
2023/11/10	102	150	-1	-150																						

●「数量」がマイナスのデータを「返品」とし、それ以外は空欄とする「状況」フィールドを作成する

<ul style="list-style-type: none"> フィールド名：状況 データ型：文字型 ※フィールドに入る値が「返品」または空欄という文字データのため、文字型を選択します。 書式設定：なし 初期値："" ※「初期値」には条件に合致しなかった場合（「数量」がマイナス以外の場合）の値（空欄）を設定します。 条件（適用順1）：数量 < 0 式または値（適用順1）："返品" 	(日付時刻型) (文字型) (数値型) (数値型) 文字型 <table border="1"> <thead> <tr> <th>売上日</th> <th>商品No</th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023/01/10</td> <td>101</td> <td>100</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2023/02/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2023/10/10</td> <td>103</td> <td>90</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2023/11/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>-1</td> <td>返品</td> </tr> </tbody> </table>	売上日	商品No	単価	数量	状況	2023/01/10	101	100	4		2023/02/10	102	150	3		2023/10/10	103	90	10		2023/11/10	102	150	-1	返品
売上日	商品No	単価	数量	状況																						
2023/01/10	101	100	4																							
2023/02/10	102	150	3																							
2023/10/10	103	90	10																							
2023/11/10	102	150	-1	返品																						

● 「売上月」フィールドを文字型で作成する（関数を使用）

• フィールド名：売上月

(日付時刻型) (文字型) (数値型) (数値型) 文字型

• データ型：文字型

※「売上月」フィールドを文字にしたいので、
文字型を選択します。
(関数の戻り値と同じデータ型)

売上日	商品No	単価	数量	売上月
2023/01/10	101	100	4	01
2023/02/10	102	150	3	02
2023/10/10	103	90	10	10
2023/11/10	102	150	-1	11

• 書式設定：なし

• 初期値：SUBSTR([売上日],6,2)

※SUBSTR関数については、「関数」を参照してください。この式の戻り値は文字型です。

● 「売上月」フィールドを数値型で作成する（関数を使用）

• フィールド名：売上月

(日付時刻型) (文字型) (数値型) (数値型) 数値型

• データ型：数値型（整数 または 10進数）

※「売上月」フィールドの値を数値として
扱いたいので、数値型を選択します。
(関数の戻り値と異なるデータ型を
選択することができます。)

売上日	商品No	単価	数量	売上月
2023/01/10	101	100	4	1
2023/02/10	102	150	3	2
2023/10/10	103	90	10	10
2023/11/10	102	150	-1	11

• 書式設定：桁区切り有り または 桁区切り無し

• 初期値：SUBSTR([売上日],6,2)

※SUBSTR関数については、「関数」を参照してください。この式の戻り値は文字型です。

◇追加フィールドの「初期値」および「条件式」で使用されるフィールド

追加フィールドの「初期値」および「条件式」の式に既存のフィールドを使用した場合、そのフィールドは、フィールド名の変更、書式の変更、フィールドの削除が行えません。

◇操作ログ

DEFINE FIELD [追加フィールド名] データ型 PIC 書式 **POSITION** n **COMPUTED**

初期値

式または値1 IF 条件1

式または値2 IF 条件2

...

※「データ型」は、「データ型」で選択した型により、ログが異なります。

データ型	ログ
文字型	C
数値型（整数）	N
数値型（10進数）	F DEC <u>n</u> n には、「小数点以下の桁数」で指定した桁数の数値が表示されます。
日付時刻型	D

※「データ型」で数値型、日付時刻型を選択した場合は、「PIC 書式」が記述されます。

データ型	選択した書式	ログ
数値型	桁区切り有り	PIC "True"
	桁区切り無し	PIC "False"
日付時刻型	yyyy/mm/dd など	PIC "yyyy/mm/dd" 選択した書式に応じた記述になります。

※「POSITION」には、テーブルでのフィールドの位置の数値が記録されます。

※条件式を設定した場合は、「式または値 IF 条件」が記録されます。

◇追加フィールドの編集・削除

追加したフィールドを編集する場合は、「テーブルメンテナンス」画面からフィールドの編集画面を開きます。式の内容を確認したい場合なども「テーブルメンテナンス」画面からフィールドの編集画面を開いて確認します。

追加したフィールドを削除する場合も同じ画面を使用します。

【「テーブルメンテナンス」画面を開く手順】

「テーブルメンテナンス」画面は、以下の3通りの操作で開くことができます。

- 対象のテーブルを開いた状態で、メニューバーの《プロジェクト》をクリックし、《テーブルメンテナンス》をクリック。
- 対象のテーブルを開いた状態で、表示エリアの任意のレコードを右クリックし、「テーブルメンテナンス」をクリック。
- ナビゲーターエリアの「テーブル」フォルダで対象のテーブルを選択し、右クリックして「テーブルメンテナンス」をクリック。

「テーブルメンテナンス」画面

①対象のフィールドのフィールド名をクリックします。

②《追加フィールド編集》ボタンをクリックします。

③フィールドの編集画面が開きます。

- 内容の確認や修正を行います。修正した場合は、《実行》ボタンをクリックします。
- フィールドを削除する場合は、《削除》ボタンをクリックします。

※《実行》、《削除》、《キャンセル》をクリックすると、「テーブルメンテナンス」画面に戻ります。編集・削除を行った場合は、「テーブルメンテナンス」画面で《保存》を実行してください。